



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

東

上場会社名 オルバヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 2689 URL <https://www.olba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	55,282	△0.5	620	85.2	615	86.6	389	129.7
2020年6月期第2四半期	55,547	2.1	335	△42.1	329	△43.5	169	△54.4

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 389百万円(246.3%) 2020年6月期第2四半期 112百万円(△58.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	63.98	—
2020年6月期第2四半期	30.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	40,041	7,392	18.5
2020年6月期	33,683	7,281	21.6

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 7,392百万円 2020年6月期 7,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,114	5.8	1,440	55.3	1,441	59.2	931	185.3	153.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年6月期2Q	6,250,000株	2020年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	167,605株	2020年6月期	167,605株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年6月期2Q	6,082,395株	2020年6月期2Q	5,610,495株

当第2四半期末において、「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式116,600株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。
- ・当社は、2021年1月1日に株式会社カワニシホールディングスからオルバヘルスケアホールディングス株式会社に商号変更しました。詳細につきましては、2020年8月11日に開示した適時開示 (商号の変更並びに定款の一部変更、及び本店所在地変更に関するお知らせ) をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は552億82百万円（前年同期比 0.5%減）、連結営業利益は6億20百万円（前年同期比 85.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億89百万円（前年同期比 129.7%増）となりました。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。詳細は、「第2 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 【セグメント情報】」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

〈医療器材事業〉

医療器材事業の商品分類・地域別の売上高は下記の通りです。

〈第2四半期 医療器材事業 商品分類別・地域別売上高〉

単位：百万円

	中国地方	四国地方	関西地方	東北地方	関東地方 その他	合計
消耗品	17,172 ▲2.3%	8,949 ▲0.4%	6,325 ▲7.4%	8,801 ▲0.5%	897 ▲18.2%	42,145 ▲2.7%
設備・備品	2,178 +7.7%	1,041 +4.4%	304 ▲38.6%	2,108 +18.2%	47 ▲13.0%	5,679 +6.1%

※1 表の売上高は事業会社の単純合算値であり、医療器材事業の売上高とは一致しません。

※2 上段は当第2四半期における売上高を、下段は前年同期比を示しています。

成長の軸となる消耗品全体の売上高は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染拡大に伴う手術件数減少の影響を引き続き受け、前年同期比2.7%減となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品の売上高は、コロナ拡大にともなう手術件数の減少により、主力の外科関連製品が前年同期比6.0%減、麻酔関連製品が同11.3%減となりました。しかしながらコロナ対策による需要増加によりPPE（マスク、手袋等の個人用防護具）関連製品が同68%増、重点領域として取り組んでいる糖尿病関連製品が同5.1%増、PCR検査機器等を含む理化学関連製品が同2.7%増などにより、手術関連消耗品全体では同1.0%減に留まりました。

整形外科消耗品は、コロナの影響でクリニックから基幹病院への患者の紹介が減少したことなどにより、引き続き手術件数低減の影響を受けています。また、一部の得意先における失注の影響で、奈良県で売上高前年同期比15.4%減、東京都で同57.3%減となりました。その結果、整形外科消耗品の売上高は同7.9%減となりました。一方で、新規商権の獲得などにより広島県で同3.5%増、宮城県で同16.1%増など、この環境下でシェアを拡大したエリアもあります。

循環器消耗品の売上高は、コロナの影響により重点領域として取り組んでいたカテーテルアブレーション（頻脈の原因となる心筋組織を焼灼もしくは凝固する治療）関連材料が前年同期比2.2%減となりました。しかしながら、TAVI（経カテーテル大動脈弁置換）等の心臓に対する新たな治療デバイスが同22.7%増と順調に伸長したこと、ならびにペースメーカーなどの不整脈治療用インプラントが同2.2%増と若干の症例増加傾向を示したことなどにより、循環器消耗品全体では同0.1%増となりました。

設備・備品の売上高は、ECMO（血液の体外循環による呼吸治療装置）や人工呼吸器など、コロナ対策関連の予算執行があったことにより、前年同期比6.1%増となりました。

その結果、医療器材事業は、売上高476億83百万円（前年同期比 2.0%減）、営業利益5億67百万円（前年同期比 5.2%減）となりました。

〈SPD事業〉

SPD事業は、前期に新規で受託した施設が順調に稼働したこと、PPE関連製品の需要が増加したことなどにより、売上高は96億77百万円（前年同期比 6.2%増）となりました。また、物品管理サービス料金の見直しも継続した結果、営業利益は74百万円（前年同期比 83.0%増）となりました。

(介護用品事業)

介護用品事業は、主力の介護用品レンタル売上高が前年同期比5.9%増と順調に成長を続けています。また、レンタルに付随する物品販売において空気清浄器や飛沫防護用パーテーション等のコロナ対策品に対する需要が高まったことや、住宅改修も順調に推移したことにより、売上高は11億66百万円（前年同期比 5.6%増）となりました。また、レンタルの利益率改善を引き続き推し進めたことにより、営業利益は69百万円（前年同期比 28.4%増）となりました。

また前年同期は、前連結会計年度まで報告セグメントとしていた輸入販売事業において、金融資産に対する貸倒引当金繰入額を2億57百万円販売費及び一般管理費に計上したことが営業利益に大きく影響を与えましたが、当期は同様の事例は発生しなかったため、利益の増加要因となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は400億41百万円となり、前連結会計年度と比べ63億57百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が11億86百万円、受取手形及び売掛金が32億35百万円、電子記録債権が10億92百万円、商品が6億65百万円、無形固定資産が1億87百万円それぞれ増加したことによるものです。

また、負債は326億48百万円となり、前連結会計年度と比べ、62億46百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が43億98百万円、電子記録債務が5億41百万円、短期借入金が17億15百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が1億82百万円、長期借入金が1億10百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は73億92百万円となり、前連結会計年度と比べ1億10百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により3億89百万円増加した一方で、配当金により2億78百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、3.1ポイント減少し、18.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ11億86百万円増加し、30億64百万円（前年同期は26億9百万円）となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、2億37百万円（前年同期は2億78百万円の減少）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益により6億15百万円、仕入債務の増加により49億39百万円それぞれ増加した一方で、売上債権の増加により43億31百万円、たな卸資産の増加により6億65百万円、法人税等の支払額により3億60百万円それぞれ減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2億92百万円（前年同期は2億64百万円の減少）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得により76百万円、無形固定資産の取得により2億17百万円それぞれ減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、12億42百万円（前年同期は20億81百万円の増加）となりました。

主な要因は、短期借入金が増加した一方で、長期借入金の返済により1億95百万円、リース債務の返済により84百万円、配当金の支払いにより2億78百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、2020年8月11日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,925,988	3,112,873
受取手形及び売掛金	17,942,559	21,178,247
電子記録債権	1,095,698	2,188,146
商品	5,417,929	6,083,264
その他	343,301	425,113
流動資産合計	26,725,478	32,987,644
固定資産		
有形固定資産	4,582,386	4,507,393
無形固定資産		
その他	504,444	691,976
無形固定資産合計	504,444	691,976
投資その他の資産	1,871,137	1,854,008
固定資産合計	6,957,968	7,053,378
資産合計	33,683,446	40,041,023
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,329,001	18,727,170
電子記録債務	5,606,746	6,147,969
短期借入金	2,120,000	3,835,000
未払法人税等	322,633	140,473
賞与引当金	36,546	35,289
その他	1,382,114	1,233,733
流動負債合計	23,797,043	30,119,636
固定負債		
長期借入金	495,000	385,000
役員株式給付引当金	100,399	131,285
退職給付に係る負債	376,792	400,406
長期未払金	309,944	290,065
その他	1,322,593	1,322,312
固定負債合計	2,604,729	2,529,069
負債合計	26,401,772	32,648,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	346,954	346,954
利益剰余金	6,433,568	6,543,790
自己株式	△246,526	△246,526
株主資本合計	7,141,746	7,251,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,919	128,626
退職給付に係る調整累計額	19,007	11,723
その他の包括利益累計額合計	139,927	140,349
非支配株主持分	—	—
純資産合計	7,281,674	7,392,317
負債純資産合計	33,683,446	40,041,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	55,547,919	55,282,035
売上原価	49,946,587	49,642,918
売上総利益	5,601,332	5,639,116
販売費及び一般管理費	5,266,144	5,018,304
営業利益	335,187	620,812
営業外収益		
受取利息	207	240
受取配当金	834	899
受取保険金	1,933	1,944
受取手数料	8,395	10,225
売電収入	4,676	4,823
その他	10,444	5,703
営業外収益合計	26,490	23,836
営業外費用		
支払利息	13,248	11,970
持分法による投資損失	10,162	11,022
売電費用	3,474	3,074
その他	5,002	3,338
営業外費用合計	31,888	29,406
経常利益	329,790	615,242
特別利益		
有形固定資産売却益	3,016	784
特別利益合計	3,016	784
特別損失		
投資有価証券評価損	21,414	—
有形固定資産除却損	2,421	824
特別損失合計	23,836	824
税金等調整前四半期純利益	308,970	615,202
法人税、住民税及び事業税	129,131	128,058
法人税等調整額	95,968	97,968
法人税等合計	225,099	226,026
四半期純利益	83,870	389,176
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,590	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,461	389,176

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	83,870	389,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,230	7,706
退職給付に係る調整額	△1,594	△7,284
その他の包括利益合計	28,635	421
四半期包括利益	112,506	389,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,096	389,597
非支配株主に係る四半期包括利益	△85,590	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,970	615,202
減価償却費	195,003	199,189
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	261,652	607
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△16,022	△2,202
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,379	23,613
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	29,625	30,886
受取利息及び受取配当金	△1,041	△1,140
支払利息	13,248	11,970
投資有価証券評価損益 (△は益)	21,414	—
持分法による投資損益 (△は益)	10,162	11,022
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,016	△784
有形固定資産除却損	2,421	824
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,397,049	△4,331,279
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,315,253	△665,334
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,487,890	4,939,391
長期未払金の増減額 (△は減少)	△2,800	△19,879
その他	△576,357	△225,403
小計	25,229	586,685
利息及び配当金の受取額	1,673	1,715
利息の支払額	△14,474	△12,847
法人税等の支払額	△342,138	△360,625
法人税等の還付額	51,416	22,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	△278,293	237,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87,616	△76,354
有形固定資産の売却による収入	8,200	850
無形固定資産の取得による支出	△94,072	△217,234
投資有価証券の取得による支出	△90,735	—
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,224	△292,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,600,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△221,628	△195,000
配当金の支払額	△228,494	△278,453
リース債務の返済による支出	△68,830	△84,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,081,046	1,242,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,538,528	1,186,884
現金及び現金同等物の期首残高	1,070,871	1,877,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,609,399	3,064,172

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	45,393,402	9,050,245	1,104,271	—	55,547,919	—	55,547,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,269,640	62,627	538	—	3,332,806	△3,332,806	—
計	48,663,043	9,112,872	1,104,809	—	58,880,726	△3,332,806	55,547,919
セグメント利益 又は損失 (△)	598,153	40,502	54,048	△282,697	410,007	△74,819	335,187

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△74,819千円には、セグメント間取引消去4,995千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△79,814千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	SPD事業	介護用品 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	44,500,494	9,615,309	1,166,231	55,282,035	—	55,282,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,183,182	62,366	176	3,245,725	△3,245,725	—
計	47,683,676	9,677,676	1,166,408	58,527,761	△3,245,725	55,282,035
セグメント利益	567,105	74,121	69,409	710,636	△89,823	620,812

(注) 1 セグメント利益の調整額△89,823千円には、セグメント間取引消去3,982千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△93,806千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで株式会社エクソーラメディカルは「輸入販売事業」として、呼吸による乳がん検査装置の国内導入に向けて準備を続けてきましたが、当初想定していた検査性能が得られず、今後国内導入に向けての事業活動を継続することが難しいと前連結会計年度末に判断しました。そのため第1四半期連結累計期間より「輸入販売事業」セグメントを除外しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。